

内藤湖南 東洋文學者、文學博士。慶應一年七月十八日誕生。

鹿角郡生れ。明治九年二月二十日歿（一八九六一九三）。本名虎次郎。字炳卿。別號筆名不平子、不癡不慧主人、不癡不慧子、冬涉子、冷眼子、加倍子、回麌生、壺乾坤生、夢花生、夢劍巻客、寶左衛門、寶馬、金、彫蟲生、悶々先生、憶人屋主、步虛小仙、游遊翁子、湖南生、湖南鷗悟、潛夫、無名人、瘦竹處士人、因爾生、老朽子、閒遊生、落人後子、落花生、藤梅子、藤炳卿、藤虎、虎、賞鑑文菩薩、隨波子、黑頭龜著、內藤虎、虎次郎等。鄉儒内藤千鶴の女男。明治十八年秋由師範學校卒。二十年上京、新聞記者兼教員。自十一年就帝國大學教授。狩野百重等と共に「同大支那繪畫」創始。大正十五年帝國學士院會員。全集十四卷（昭和四十一年筑摩書房）刊。

著書『近世文學史綱』（明治二十年一月十九日敎社、東華堂發行）、『懲毖武俠』（昭和二十一年八月二十日東華堂）、『焚珠御葬』（萬葉傳著者名、明治二十四年六月二十八日東華堂）、『鬱山楚水』（内題「漫遊燕山楚水」明治二十二年四月二十日東華堂）、『鬱山譜遺集』（合著・小池清美編、昭和四十一年十一月廿四日大阪・大阪朝日新聞社）、『紫祖觀』（合著・明治廿四年四月十九日京都・小學館秀實編刊）、『敵印畫譜遺集』（合著・明治廿四年十一月廿四日大阪・朝日新聞合資會社）、『鬱山楚水』（合著・昭和廿五年一月二十日東華堂）、『鬱山楚水』（合著・東華堂編）、『忠貞五禽文』（大正十一年秋版、無印版）、『大阪文化第一店』、『忠貞五禽文』（大正十一年秋版、無印版）、『大阪文化第一店』、『大阪記念繪畫遺集』（合著・大阪毎日新聞社編、大正十四年八月）刊。

東京毎日新聞社）、『新開記本明行説』（合著・大阪朝日新聞社）、
西郷錦、昭和二年五月十七日井原社）、銅脈先生原著『井原口説』（西
郷錦、昭和四年一月十四日井原・東生齋）、『讀史鑑錄』（昭和四年八
月八日弘文堂書房）、『宋元版の説』（昭和六年四月一日幾叟・井原
右内著圖書舎）、~~井原口説~~『讀史鑑錄』（三編總馬共編、昭和十
六年六月）、十五日弘文堂書房）、『後藤上吉史』（昭和十九年五月）十
日弘文堂書房）、『井原口説』（昭和二十一年六月）、十五日弘文堂書
房）、『中國近史』（昭和二十一年五月）、十五日弘文堂書房）、『中
國中古の文化』（昭和二十一年五月）、十五日弘文堂書房「教養文庫」）、
『支那史略』（昭和二十四年五月）、十五日弘文堂）、『近世文
獻』（小學科馬解題、昭和二十四年十一月）、十五日新開社「解文
庫」）等。